

琉球大学大学院理工学研究科博士後期課程 学位論文審査基準

〔 令和5年5月17日 〕
制 定

琉球大学大学院理工学研究科規程第19条第4項に基づき、理工学研究科博士後期課程における学位論文の成績評価に関しては、以下の各項目について審査し、その結果を基に総合的に判断して合否を決定する。

論文審査項目

1. 当該分野の研究の経緯や現在の状況を十分に理解した上で、潜在する課題を整理し、研究課題の設定が適切になされていること。
2. 論文の記述（本文、図、表、引用、文献表など）が十分かつ適切であり、結論に至るまでの首尾一貫した論理構成になっていること。
3. 設定した研究課題に対して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法が採用され、それに則って具体的な分析・考察がなされていること。
4. 研究成果が当該研究領域の専門的見地から見て、独自の価値を十分に有するものとなっていること。

なお、学位論文の審査と最終試験（内容説明・質疑応答による専門知識ならびに研究能力の評価）の成績はそれぞれ合格・不合格で評価する。

学位論文： 合格 ・ 不合格

最終試験： 合格 ・ 不合格

附則（令和5年5月17日）

この基準は、令和5年5月17日から施行し、令和5年4月1日から適用する。